

鹿島



小笠原MVP弾!

【ナビスコ杯：鹿島-浦和】後半14分、決勝ゴールを決め喜ぶ鹿島小笠原（写真上）表彰式で優勝を喜ぶ鹿島イレブン（写真下）控室でシャンパンをかけ合い喜ぶ鹿島トニーニョ・セレーン監督（左）とイレブン

日刊スポーツ

NIKKAN SPORTS

11月4日 月曜日 2002年
(平成14年)PM7:00



2年ぶり3度目

ナビスコ杯 決勝
◇4日◇東京・国立競技場
鹿島が1対0で浦和を下し、2年ぶり3度目の優勝を果たした。後半主導権を握った鹿島は14分、速攻からのMF小笠原のシュートが浦和DFに当たり先制。その後も、組織的な守備で浦和の反撃をかわし、1点を守り切った。最優秀選手には小笠原が選ばれた。
優勝3度は東京V（当時V川崎）と並ぶ最多回数。鹿島には優勝賞金1億円、準優勝の浦和には5000万円が贈られた。

◇Jナビスコ杯決勝◇4日◇国立

鹿島 1 { 0-0 / 1-0 } 0 浦和